	角	析ソフトウェア	解析コード	FLUENT (フルー	解析ソフト -エント)15.0.7 去による非定常計算	
			固体-気体の混相流解析	1流モデルを使用		
		項目	考え	方	入力値	
	空気	密度	空気は一般空気		1. 225 [kg/m³]	
	気	粘性係数	常温・常圧(15[℃]、	0.1[MPa]) での値	1.789×10 ⁻⁵ [kg/m·s]	
物	ア	石綿の種類	-		クロシドライト	
性値	スベ	密度	_		$3.37[g/cm^{3}]$	
IE	スト繊	繊維の長さ	事故発生時(平成25年12 アスベスト繊維の		12.7[μ m]	
	維	繊維の直径	クロシドラν φ0.04~φ0.	0. 095 [μ m]		
入空 条気 件流		風向・風速	平成27年1月26日 六番町駅構内10か原	_		
		発生位置	換気機械室原	(風速5.0m/s)		
アスベ	ガラリからの	仮 定 I 2日 8:30~18:00 13日 8:30~10:10	青枠領域の断面 (12/12 8:30 1,100本/1	4, 419. 5[本/L]		
ハスト発生条件	仮定アスベ	作業休止中 負圧装置稼働 II 13日10:10~16:00	青枠領域の断面平 (12/13 10:10 作業停止時の 110本/L	21.0[本/L]		
14	件 スト 作業休止中		II 0	Ⅱの値		
	ŀ	・イレ系統排風量	トイレ排風機	の定格風量	4, 150 [m³/H]	
		幾械室扉前での	12日 9:15~10:15	総繊維数濃度 アスベスト濃度	1, 100[本/L] 700[本/L]	
		濃度測定結果	13日15:10~16:03	総繊維数濃度 アスベスト濃度	110[本/L] 100[本/L]	

アスベスト物性値(長さ・直径)の調査結果

調査概要	アスベス	アスベスト繊維の長さ、直径及び種類の測定を行うもの							
試料		F12月12日換気機械室扉の前で トを検出したフィルター							
対象繊維	長さ	5 μm以上 幅(直径) 0.2μm以上で 長さと幅の比(アスペクト比)が3:1以上							
視野範囲の面積	0. 0087	mm^2							
試験方法	10 視野 (繊維計数:40本 倍率:1000倍) 長さ・直径は、観測された40本のアスベスト繊維を 実測可能な大きさまで拡大 (4000~10000倍) し計測した								
測定機関 ユーロフィン環境総合研究機構株式会社									
分析使用機器		顕微鏡(SEM) 蛍光X線分析装置(EDX) 製 JCM-5700							

	最小値	最大値	算術平均	幾何平均	標準偏差
長さ (μm)	9. 65	34. 57	17. 9	16. 9	6. 2
直径 (μm)	0. 31	1. 78	0.8	0. 7	0. 3
種類		すべて	ニ クロシド	ライト	

濃度 (実測値 15:10-16:03)

平均110本/L

 $\sqrt{16:03}$

15:10

16:00

アスベストの発生条件・仮定発生濃度

作業時	アスベスト 除去	負圧装置	分類			
平成25年12月12日(木)	8:30~18:00	0	\circ	I		
	18:00~	×	×	Ш		
平成25年12月13日(金)	~ 8:30	×	×	Ш		
	8:30~10:10	0	0	I		
	10:10~16:03	×	0	П		

風洞

600

400

200

8:30

仮定濃度

1, 100本/L

19:30

平成25年12月12日

分		作業状況		
類	作業時間	アスベスト 除去	負圧装置	
I	12月12日(木) 8:30~18:00 12月13日(金) 8:30~10:10	0	0	
П	12月13日(金)10:10~16:03	×	0	
Ш	12月12日(木)18:00~翌8:30	×	×	

換気機械室

仮定濃度

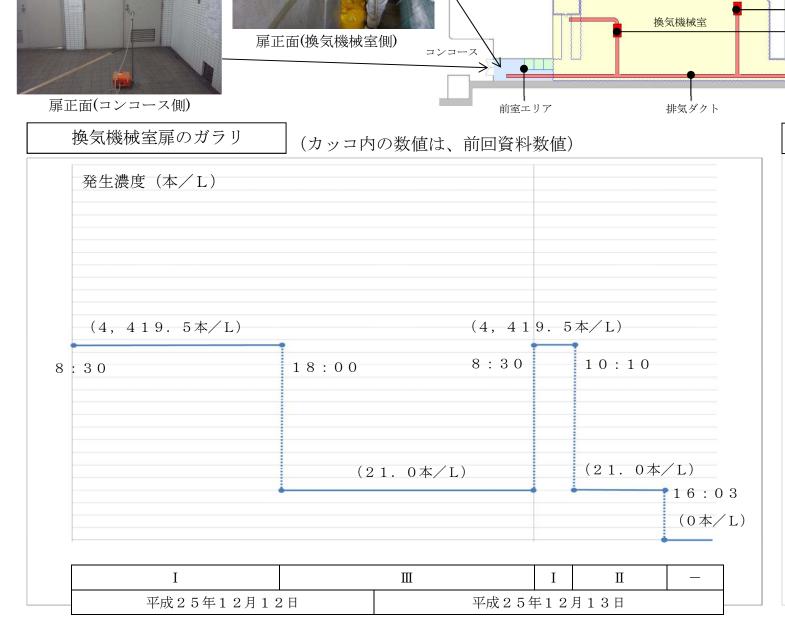
110本/L

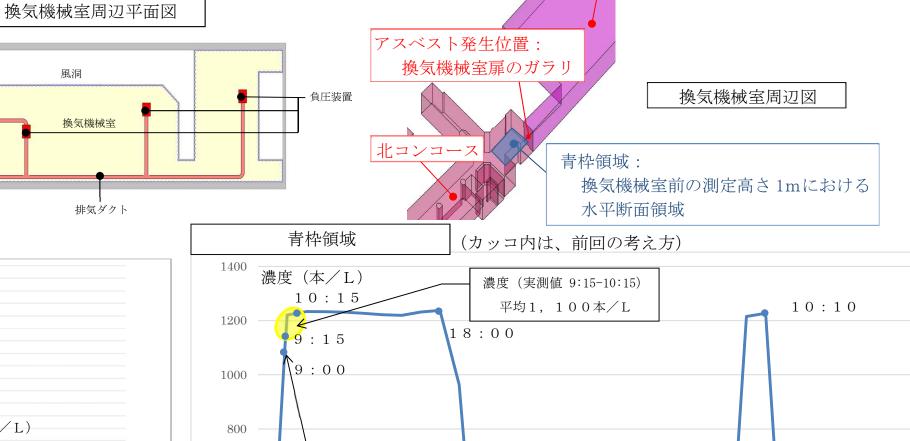
 \mathbf{III}

8:30

平成25年12月13日

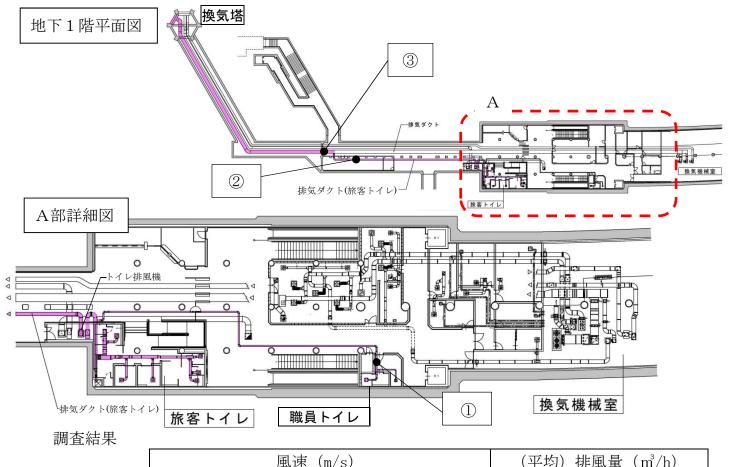
※アスベスト除去欄の○は、除去中。負圧装置欄の○は稼働中を示す。





トイレ系統排風量の調査結果

調査概要	排気ダクト内の風速を測定し、トイレ系統の排風量を確認するもの									
調査条件	トイレ排風機以外の換気装置を全て停止し、事故当時と同じ状況									
実施日	平成27年12月17日(木)									
測定時間帯	 (1)大宝町換気所・六番町換気所 非稼働時 9時~12時 (2)大宝町換気所・六番町換気所 稼働時 13時~14時 (3)大宝町換気所稼働時 14時~17時 (4)営業時間外 24時30分以降 									
測定点	3箇所									
測定機器	アネモメーター 型式 VS-001EXS (アイ電子技研)									



				(平均)排	虱量(m³/h)			
	断面積			測定値			測定値	前回シミュレ
	(m^2)	(1)	(2)	(3)	(4)	平均	例是他	ーション風量
1	0.04	3.40	3. 43	3. 43	3. 43	3. 42	500 m³/h	(750 m³/h)
2	0. 20	6. 58	6. 77	6.61	6. 12	6. 52	4, 700 m³/h	(4, 150 m³/h)
3	0.72	1. 57	1.48	1. 57	1. 57	1. 55	4,000 m³/h	(4, 150 M/n)

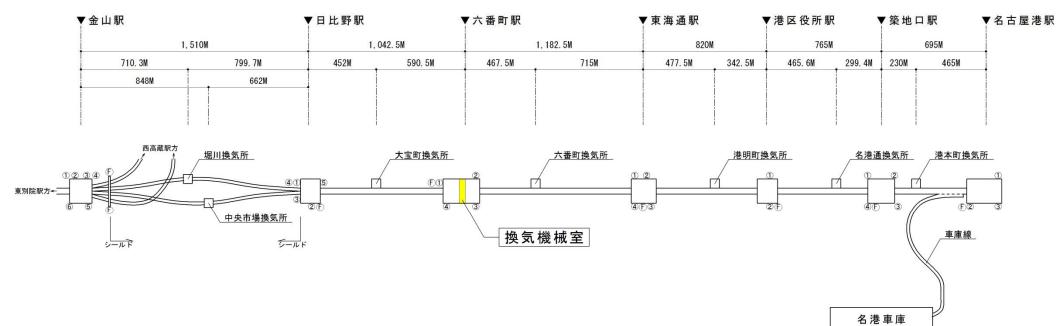
	解析ソフトウェア			解析コード	FLUENT (フル	解析ソフト 〜エント)16.2 去による非定常計算			
				固体-気体の混相流解析	流モデルを使用				
	項目			考え	方	入力値			
	空気		密度	空気は一般空気		1. 225 [kg/m³]			
	気		粘性係数	常温・常圧(15[℃]、	0.1[MPa]) での値	$1.789 \times 10^{-5} [kg/m \cdot s]$			
	ア		石綿の種類	-		クロシドライト			
物 性	ス		密度	-		$3.37[g/c \mathrm{m}^3]$			
値	ベスト繊		繊維の長さ	事故発生時(平成25年12 ア ヌベスト繊維の 資料40の幾		16.9[μm] 12.7 [μm]			
	維		繊維の直径	クロシドラ クロシドラ ク0.04∼ φ0.	作の直径	0.7[μm] 0.095 [μm]			
入空 条気 件流			風向・風速	平成27年1月26日 六番町駅構内10か原		_			
			発生位置	換気機械室原	(次回算出) 風速 5. 0 [m/s]				
アスベ	ガラリから	I 12日 8:30~18:00 13日 8:30~10:10		青枠領域の断面 (12/12 8:3 1,100本/ I	15 0~9: 00)で	(次回算出) 4 , 419. 5 [本/L]			
スト発生条件	仮定アスベ	仮定アスベ	仮定アスベ	スベ	Π	作業休止中 負圧装置稼働 13日10:10~16 :00	青枠領域の断面平 (12/13 10:10 110本/ L	03)∼16: 00) で	(次回算出) 21. 0[本/L]
Ξ	スト 発 仮 生 濃 度 12日18:00~翌8:30			II O	(次回算出) 21. 0 [本/L]				
	トイレ系統排風量			トイレ排風機	① 500[m³/h] ②4,700[m³/h] ③4,000[m³/h] 4,150 [m³/h]				
	;	機械	(室扉前での	12日 9:15~10:15	総繊維数濃度 アスベスト濃度	1,100[本/L] 700[本/L]			
			変測定結果	13日15:10~16:03	総繊維数濃度 アスベスト濃度	110[本/L] 100[本/L]			

翌年同時期の駅構内・外気の温度データ

		7			
測定時間	場所		① 換気機 ② ホーム		2番出入口
	①換気機械室前	換気塔	3 ホーム		
1月26日11:00~1月27日11:00	②ホーム階段		④ スンコ④ コンコ		
	③ホーム階段	EV EV	6 ⑤ 4番出		
1月27日10:00~1月28日10:00	⑦給排気路				
1月27日13:00~1月28日13:00	⑧ホーム階段	======	4	trona 駅長室 □ □ □	南湖北
1), 2 / д 1 0 . 0 0 - 1), 2 0 д 1 0 . 0 0	⑨ホーム階段			北改县 駅長室 換気機械室	ホーム 開始れ
	④コンコース		7) ①	3番出入口
	⑤4番出入口		5		
1月28日15:00~1月29日15:00	⑥1番出入口		4番出		下 1 階平面図概略図
	⑩トイレ出入口			2	8
1月26日11:00~1月29日15:00	①外気温				番線ホーム
国 洞(給	気)	凡例		EV X	番線ホーム
		/ ●:24時間調査	地点(3次元風速)	3	9
-בעב	-2				
		■:外気温調査	地点	六番町駅地-	下 2 階平面図概略図
		■:外気温調査	地点	六番町駅地 ⁻	下2階平面図概略図
		■:外気温調査	地点	六番町駅地 ⁻ — C ———	下2階平面図概略図 ▶
	>	В	世点 【 【 <		下2階平面図概略図 ▶ ┃ ┃
W M M M M M M M M M	5 時	■: 外気温調 査 ■: 外気温調 査 ■ 5 時	世点 I I I I I I		下 2 階平面図概略図 ▶
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	>
	5 時	В		С —	≯
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	>
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	>
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	
	5 時	B 0 時 40 分 M		_ C	
	5 時	B 0 時 40 分 5 時	→ I O 時 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	_ C	

名港線トンネル構造

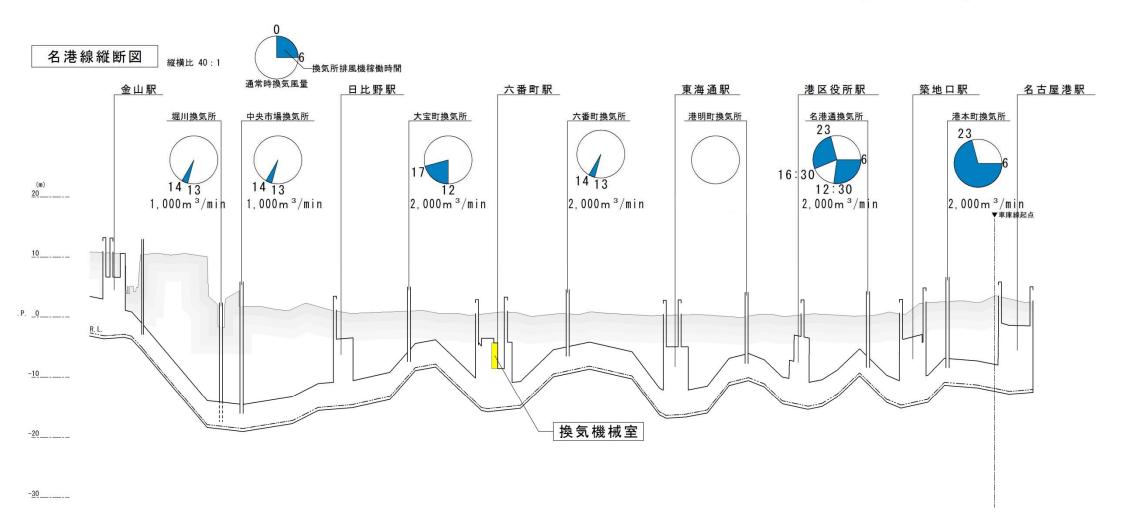




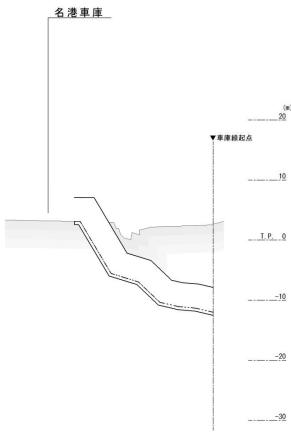
名港線換気システム

1日他が1光スペン	/ / _		
施設名	運転方法	運 転 時 間 (冬 季)	備考
堀川換気所	タイマー	13:00~14:00	排気
中央市場 換気所	タイマー	13:00~14:00	排気
大宝町換気所	タイマー	12:00~17:00	排気
六番町換気所	手動	13:00~14:00	排気
港明町換気所	手動	停止	排気
名港通換気所	手動	6:00~12:30 16:30~23:00	排気
港本町換気所	手動	6:00~23:00	排気

※駅の給気は冬季期間停止



車庫線縦断図 縦横比 40:1

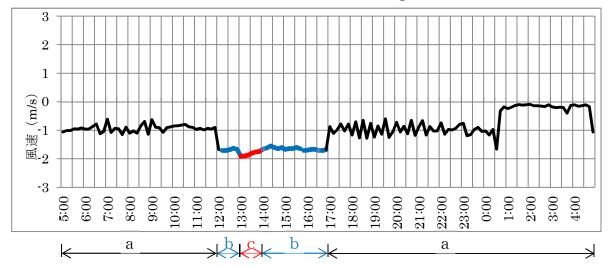


中間換気所による空気変動について

1 調査地点(六番町駅地下2階平面図 概略図)



2 10 分間平均値の経時変化図(風速) 調査地点③

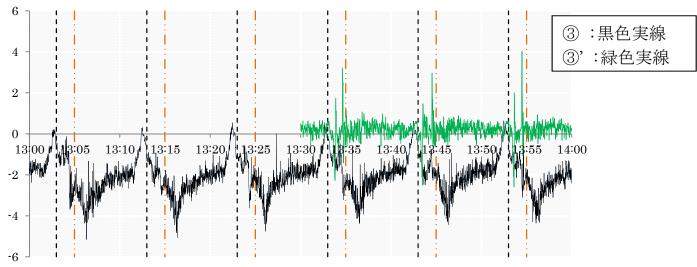


a:換気所非稼働時

b:大宝町換気所稼働時

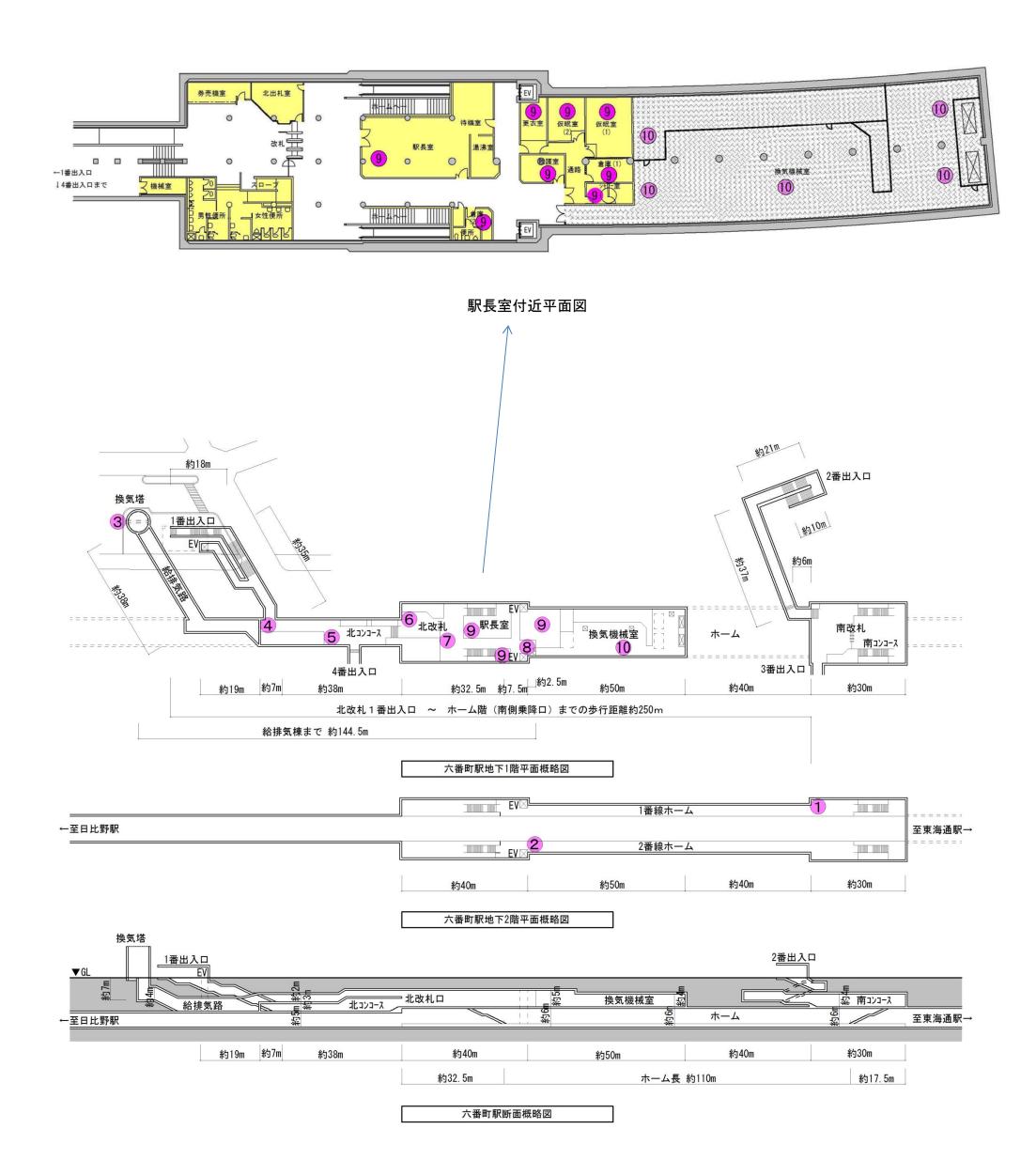
c:大宝町・六番町換気所稼働時

3 瞬時値(1秒ごとの風速) 調査地点③、③'(13時00分~14時00分)



- ※ ③の風速のマイナス (一) はホーム側への流入を示す
 - ③ 'の風速のプラス(+) は日比野駅側(大宝町換気所)への流入を示す
- ※ 列車ダイヤ ------ 金山方面 (13 時 03, 13, 23, 33, 43, 53 分)---- 名古屋港方面(13 時 05, 15, 25, 35, 45, 55 分)

総繊維数濃度・アスベスト濃度測定結果一覧



資料38 を一部修正 ※第5回

総繊維数濃度・アスベスト濃度測定結果一覧

欄中の数値はアスベスト濃度を示す。但し()内は総繊維数濃度を示す。

は、アスベスト濃度の分析を実施したものを示す。 単位(本/L) 測定値等 1番 2番 換気塔 1番 北コ 北コ 北改 機械室 仮眠 換気 測定者 負圧装 事 項 ホーム ホーム 通路 ンコ ンコ 札内 扉前 室等 機械 **※** 4 置稼働 諸室 ース ース 室 検出下限値 帯※3 月 日 時刻 1 2 (3) 4 **(5) 6** 7 (8) 9 (10)平成 25 年 施工業者 0.5 未満 0.5 未満 0.5 未満 12月9日~ 6か所 0.5作業前 12月12日 負圧装置運転開始 $8:30\sim$ $9:15\sim10:15$ 2.5700 港保健所 (4.0)(1,100)1.0 (0.22) $\sim 18:00$ 負圧装置運転停止 $18:00 \sim 8:30$ 負圧装置運転停止期間 12月13日 8:30~ 負圧装置運転開始 港保健所 $15:10\sim16:03$ 100 (110)1.0 **※** 5 (0.22) $15:05\sim 16:05$ (0.22)負圧装置運転停止 ~15:50 頃 $16:05\sim17:05$ 港保健所 4.0 (6.5)1.0 $16:10\sim17:10$ (0.22)(0.22 未満) $18:30\sim19:30$ 施工業者 (0.5)(0.5)(0.5)(0.5)(0.5)0.5未満) 未満) 未満) 未満) 未満) $9:45\sim10:45$ 港保健所 12月16日 (0.22 未満) $9:50\sim10:50$ (0.22)1.0 12月24日 $9:35\sim10:35$ (0.22)(0.22) $9:40\sim10:40$ (0.22 未満) $16:10{\sim}17:10$ 平成 26 年 (0.22 未満) 1月9日 $16:20\sim 17:20$ (0.22)1月22日 $13:20{\sim}14:20$ (0.22) $13:25\sim 14:25$ _ _ _ _ (0.22 未満) $14:30\sim15:30$ 1.0 未満 (0.67) $14:40\sim15:40$ 1.0 未満 (0.22 未満) 2月5日 $13:23\sim 14:23$ _ (0.22)_ _ _ $13:29 \sim 14:29$ _ _ _ (0.22)2月6日 $21:06\sim23:06$ 交通局※1 0.5 未満 0.58か所 2月19日 $13:40\sim14:40$ 港保健所 1.0 未満 1.0 (0.67) $13:50\sim 14:50$ (0.22)1.0 未満 (0.45)交通局※2 3月7日 21:18~23:18 (0.5 未満) 3月8日 $2:38\sim 3:38$ _ _ _ _ _ _ _ _ 0.53月11日 $0:54\sim4:08$ 等 (0.5 未満) (0.5 未満) (0.5)未満) $18:05\sim 20:05$ 3月13日 (0.5 未満) 3月21日 1:07~4:08等 (0.5 未満) (0.5 未満) (0.5)未満) 4月16日 $9:55\sim 10:55$ (0.22)港保健所※6 $11:00\sim 12:00$ 0.500.50 未満 (0.22)(0.45) $9:26\sim10:26$ 5月20日 _ _ _ (0.22)_ _ $9:24 \sim 10:24$ _ _ _ (0.22 未満) 6月17日 $10:00\sim 11:00$ 0.50 未満 (0.45) $10:15\sim11:15$ (0.22未満) _ _ _ _ _ _ _ 7月16日 $9:57 \sim 10:57$ (0.22) $10:03\sim 11:03$ _ (0.22)_ _ _ 7月19日 $1:33\sim 3:26$ 等 交通局※7 (0.5 未満) (0.5 未満) (0.5)0.5未満) 8月13日 港保健所 $10:00\sim 11:00$ _ _ _ (0.22) $9:55\sim10:55$ (0.22)(0.22 未満) 9月19日 $1:18\sim 4:36$ 等 交通局※8 (0.5 未満) (0.5 未満) (0.5)0.5

未満)

※第5回 資料38 を一部修正

											※ 弗:	3四 食科38	2-
						測定信	直等						
		1番	2番	換気塔	1番	北コ	北コ	北改	機械室	仮眠	換気	測定者	負圧装
	事 項		ホーム	JX774 E	通路	ンコ	ンコ	札内		室等	機械	× 4	置稼働
		ホーム	か 一 ム)))))				扉前				
	_					ース	ース			諸室	室	検出下限値	带※3
月 日	時刻	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10		
9月19日	10:23~11:23	_	_	_	_	_	_	_	(0.22)	_	_	港保健所	
	10:19~11:19	_	_	(0.22)	_	_	_	_	_	_	_	(0.22)	
9月20日	1:04~4:32 等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5 未満)	_	_	_	交通局※8 0.5	
9月21日	1:04~4:32等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_	交通局※8 0.5	
10月21日	10:07~11:07	_	_	_	_	_	_	未満)	0.50 未満	_	_	港保健所	
									(0.45)			0.50	
10 □ 00 □	10:00~11:00	_	_	(0.22 未満)	_	_	_	_	_	_	_	(0.22)	
10月30日	$0:50\sim 3:52$	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_	交通局	
11月21日	9:37~10:37	_	_	_	_	_	_	未満)	(0.22)		_	0.5 港保健所	
11 月 21 日	$9:37 \sim 10:37$ $9:30 \sim 10:30$	_	_	(0.22)					(0.22)	_	_	(0.22)	
12月16日	$9:45\sim10:45$	_	_	(0.22)	_	_	_	_	(0.22)	_	_	港保健所	
12 / 10	$9:40\sim10:40$	_	_	(0.22 未満)	_	_	_	_	(0.22)	_	_	(0.22)	
平成 27 年	$9:40^{\sim}10:40$ $9:40^{\sim}10:40$	_	_	(0.22 木间)	_	_	_	_	(0.22 未満)	_	_	港保健所	
1月22日	$9:35\sim10:35$	_	_	(0.22)	_	_	_	_	(0.22 木個)	_	_	(0.22)	
2月 8日	$2:30\sim3:30$	_	_	(0.22) —	_	_	_	_	(0.22)	_	_	港保健所	
27, 0 1	$2:32\sim3:32$	_	_	(0.22)	_	_	_	_	(0.22)	_	_	(0.22)	
2月3日	1:38~4:55等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_	交通局※9	
_,,			(0.0)[(1][[])	(0.0 /\\1\\\)				未満)				0.5	
2月4日	1:04~3:50等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5 未満)	_	_	_		
2月 5日	1:01~4:13等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_	-	
	·		(0.0)[(-)	(0.0)[N][M])				未満)					
2月7日	0:59~4:00等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_		
								未満)					
2月11日	0:53~4:28等	_	_	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_		
0 0 10 0	1 01 0 01 55							未満)				-	
2月12日	$1:01\sim3:31$ 等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5 未満)	_	_	_		
2月13日	1:13~4:01等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_	-	
2 / 10	1.10 1.01 4		(0.5 木油)	(0.5 木両)				未満)					
2月17日	0:57~4:42 等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5	_	_	_	-	
	,		(0.0 /\\)	(0.0 /\\1\\\)				未満)					
2月24日	$0:47{\sim}4:35$	_	_	_	_	_	_	(0.5	_	_	_		
							<u> </u>	未満)					
3月20日	9:30~10:30	_	_	(0.22 未満)	_	_	_	_	_	_	_	港保健所	
	$9:35\sim10:35$	_	_	_	_	_	_	_	(0.22)	_	_	(0.22)	
5月14日	9:45~10:45	_	_	(0.22 未満)	_	_	_	_	_	_	_	港保健所※10	
	9:40~10:40	_	_	_	_	_	_	_	(0.22 未満)	_	_	(0.22)	
5月15日	1:35~3:56等	_	0.5 未満 (1.2)	(0.5 未満)	_	_	_	(0.5 未満)	_	_	_	交通局※11 0.5	
7月15日	0:19~2:19等	_	(0.5 未満)	(0.5 未満)	_	_	_	>14H42	_	_	_	†	
, /, 10 H	, 10 日, 10 寸	1	(ひ・ひ /下1門)	(ひ・ひ /下1門)	1	1	1	<u> </u>		1	1	I.	

(平成28年3月4日現在)

- 註記: ※1 2月6日の測定箇所8か所は 駅長室、更衣室、仮眠室(1)、仮眠室(2)、倉庫(1)、倉庫(2)、シャワー室、救護室
 - ※2 六番町石綿含有吹付け材飛散調査に係る石綿分析他業務調査時の測定結果を示す。
 - ※3 負圧装置の稼働時間は、石綿取扱い作業実施記録等による。
 - ※4 港保健所の測定結果は、環境科学調査センターの測定報告書による。
 - ※5 アスベスト繊維数 104 本/Lのうち、アモサイト 15 本/L、クロシドライト 89 本/L (104→100)
 - (67 視野で繊維数が 41 本 (繊維数が 40 本に達した場合、その視野は最後まで計数) アモサイト 6 本、クロシドライト 35 本)
 - ※6 平成 26 年度から港保健所のアスベスト濃度測定の視野数を 150 から 300 に変更したため検出下限値は 0.50 本/L。
 - ※7 風洞(給気ダクト)内のアスベスト飛散調査時の測定結果を示す。
 - ※8 受注者からの申出による調査時の測定結果を示す。
 - ※9 換気機械室復旧作業時の測定結果を示す。
 - ※10 換気機械室復旧作業完了後(作業場内養生撤去後)の測定結果を示す。
 - ※11 換気機械室復旧作業(風洞内清掃作業時の測定、送風機稼働後の最終確認のための測定)の測定結果を示す。

※赤字部分:追記及び修正箇所

アスベスト飛散事例

※第2回 資料23 を一部修正

ノスペストル成争の	<u> </u>					次第2四 [真材23] を			
	Wek	サイトで検索した主	な事例	名古屋市環境局	昂情報公開事例	環境省公表事例(参考)			
	東京都文京区立 さしがや保育園	佐渡市両津小学校	大阪府立金岡高校	大手町建物	地下鉄六番町駅	名古屋市内の建 物	川口市内の建物	西尾市内の建物	
工事の種類	改修工事	大規模改造工事 (アスベスト除去)	耐震補強 及び改修工事	改修工事	アスベスト除去工 事	建物の解体	建物の解体	建物の解体	
発生年度	平成11年	平成18年	平成24年	平成23年	平成25年	平成21年	平成25年	平成25年	
飛散状況	工事の過程で、天 井裏等に存在した 吹付けアスベスト を飛散させ、隣接す る保育室の園児等 がばく露した。	校舎1階の階段 付近のアスベスト 除去工事中にアス ベストを含む粉じ んを飛散させ、児 童・教職員がばく露 した。	改修工事中に、吹付けアスベストが外部に露出していた状態で作業を行い、生徒・教職員等がばく露した。	建物の6階部分 のアスベスト除去 工事中にアスベス トが飛散した。	地下鉄構内の機 械室のアスベスト 除去工事中にアス ベストが飛散し、 駅利用者や駅員等 がばく露した。	建物の解体現場において、吹付けアスベストの除去工事中にアスベストが飛散した。	建物の解体現場において、吹付けアスベストの除去工事中にアスベストが飛散した。	建物の解体現場において、煙突内部に敷設された断熱材の除去工事中にアスベストが飛散した。	
飛散日数	13日間~	2日間~	26日間	_	2 日間	不明	不明	不明	
測定値	不明 9,930 本/L (推定値の最大値)	不明 260 本/ L (推定値)	不明	490 本/ L	700 本/ L	1,569 本/ L (境界では基準 値内)	26 本/ L (境界では基準 値内)	310 本/ L (境界では基準 値内)	
測定者	_	_	_	保健所	保健所	環境省	環境省	環境省	
アスベストの種類	クロシドライト クリソタイル	クリソタイル	クロシドライト クリソタイル	クロシドライト アモサイト クリソタイル	クロシドライト アモサイト	クリソタイル アモサイト	クロシドライト アモサイト	アモサイト	
飛散の原因	事前調査不足	養生シートの破れ 養生テープの剥が れ	事前調査不足	集じん・排気装置の 不具合 排気ダクトの破損	集じん・排気装置 の不具合等		集じん・排気装 置の 不具合等	集じん・排気装 置の 不具合等	
健康影響評価の方法	アスベストばく アスベスト 露量を推定しアス 露量を推定しアス		継続中		JA = 1.4.	_	_	_	
リスク評価値	・日本産業衛生学会 許容濃度委員会・WHO・USEPA・Hughes	・日本産業衛生学会 許容濃度委員会 ・Hughes	·WHO ·USEPA ·Hughes		検討中				

[※]Webサイトで検索した主な事例並びに環境省のWebサイトでの公表事例及び名古屋市環境局の情報公開事例を一覧とした。

[※]環境省の事例は作業場内の敷地境界では基準値内。

(1) 対象者

	対 象
駅利用者	平成 25 年 12 月 12 日午前 8 時 30 分から 13 日午後 6 時 30 分の時間帯に六番町駅を利用した人
駅職員	平成 25 年 12 月 12 日午前 8 時 30 分から 13 日午後 6 時 30 分の時間帯に六番町駅で勤務した人
職員等	平成 25 年 12 月 12 日午前 8 時 30 分から 13 日午後 6 時 30 分の時間帯に六番町駅で監督業務等 に従事した人
周辺住民	(次回以降の検討会において、意見聴取)

(2) ばく露量の推定

	時間	濃度	回数	呼吸域高	高さ
駅利用者	駅出入口から列車乗降口までの最大歩行距離・待ち時間により推定	シミュレーション 数値	1~4回 ※12日・13日に乗降 で利用したと仮定	乳幼児 子供 大人 大人	0.7m 1.0m 1.2m 1.6m
駅職員	勤務記録等から推定	シミュレーション 数値	1~2回 ※勤務記録等から推定	大人	1.6m
職員等	勤務記録等から推定	シミュレーション 数値	1~2回 ※勤務記録等から推定	大人	1.6m
周辺住民	(次回以降の検討会において、意見聴取)				

(3) 駅利用者の最大ばく露量行動モデル

		時間
馬	利用者	1番出入口 ⇒ 北改札⇒ EV (待ち時間考慮) ⇒ 乗車位置 (最後尾) ⇒列車へ乗車 (待ち時間考慮)

